



経営近況報告会

2025年11月21日

SBIグローバルアセットマネジメント株式会社
代表取締役社長 朝倉 智也

**中長期の価値創造ストーリーを
市場に可視化していく**

統合効果は鮮明 一株当たり利益は大幅に増加

(単位:百万円)

2025年3月基準の連結売上高と利益	SBIグローバルアセットマネジメント	SBI岡三アセットマネジメント	SBIレオスひふみ	合計
売上高	11,569	13,157	11,424	36,150
営業利益	2,269	1,808	2,070	6,147
経常利益	2,565	1,877	2,069	6,511
当期利益	1,670	1,239	1,485	4,394
非支配株主に帰属する当期利益	23 (2.1%※)	607 (49%※)	- -	630
親会社株主に帰属する当期利益	1,647	632	1,485	3,764

※当社子会社の外部株主持分比率

発行済み株式数

<2025年3月末>
89,673,600株

2.28倍

<2025年12月1日想定>
137,970,999株

一株当たり利益
(EPS)

18円

54%増

50%増

27円

米国的主要資産運用会社と金融情報ベンダーの バリュエーション

	PER(倍)
① 資産運用会社全体の平均	44.5

プライベートアセット中心(ブラックストーン・KKRなど) <51.5>

② 金融情報ベンダー全体の平均	31.9
S&Pグローバル、モニングスターなど	

<① 資産運用会社+ ②金融情報ベンダー>の平均	38.2
--------------------------	------

SBIグローバルアセットマネジメント	16.5
--------------------	------

米国の各データは、2024年12月末基準、SBIグローバル(SBI岡三、SBIレオスひふみ)の2025年3月末基準、時価総額はSBIグローバルの2025年11月19日終値を使用
「資産運用会社」「金融情報ベンダー」は、米モニングスターのインダストリー「Asset Management」と「Financial Data & Stock Exchanges」10月15日時点

米国同業並みのバリュエーションで算出した 当社の想定株価と時価総額

米国の主要資産運用会社と
金融情報ベンダーの平均バリュエーション

PER(倍)=38.2

30倍 ×

35倍 ×

2025年3月期基準の
一株当たり当期利益

<統合後の株数:約138百万株>

EPS:27円

2025年3月期基準の
連結当期利益

3,764百万円

想定株価

810円

= 想定時価総額

約1,130億円

想定株価

945円

= 想定時価総額

約1,320億円

- 潤沢な資金と高い資本効率 -

次の成長投資を支える財務力

	(百万円)	SBIグローバルアセットマネジメント		SBIレオスひふみ ②	合計 ①+②
		①	<うちSBI岡三アセット>		
資産	現預金	17,365	13,612	2,592	19,957
	投資有価証券	10,148	2,254	341	10,489
	現預金 & 投資有価証券	27,513	15,866	2,933	30,446
純資産	純資産	23,533		6,571	30,105

※SBIグローバルアセットは2025年9月末、SBI レオスひふみは直近開示の2025年6月末

(百万円)

	SBIグローバルアセットマネジメント	SBI岡三アセットマネジメント	SBIレオスひふみ	合計
親会社株主に帰属する当期利益	1,647	632	1,485	3,764

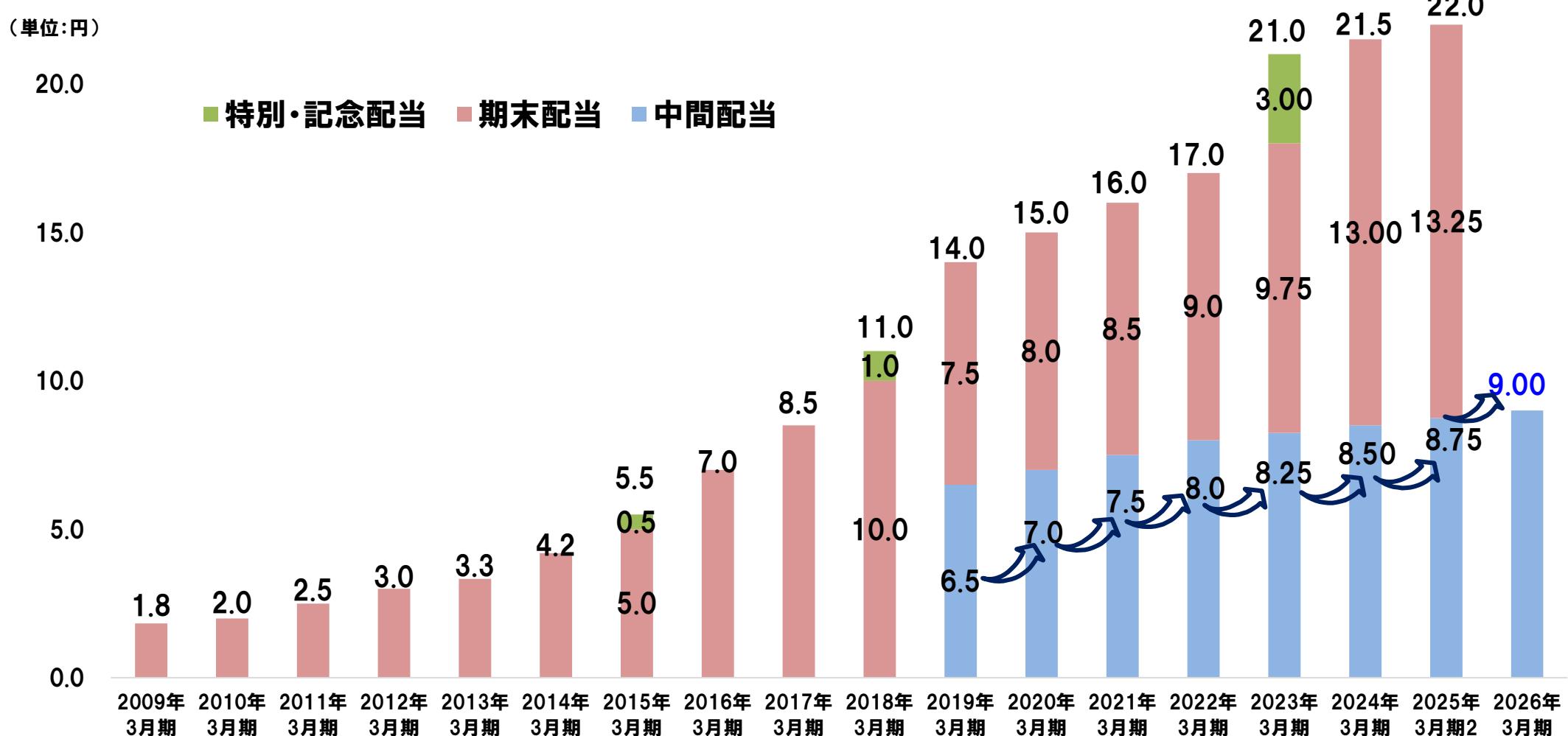
ROE=12.5%

※親会社株主に帰属する当期利益は、2025年3月末基準

中間期の配当は7期連続の増配

通期の配当は2025年3月期まで16期増配を継続中

中間期の配当金は1株当たり9円00銭



※ 2015年3月期の記念配当は、上場15周年記念配当

※ 2018年3月期の記念配当は、設立20周年記念配当

※ 2023年3月期の特別・記念配当は、ブランド売却による特別利益計上と設立25周年による記念配当

今期の期末株主優待は感謝と進化を込めて更に拡充

保有株式数	保有期間	XRP 暗号資産:XRP	ひふみ INN ひふみクロスオーバー pro
1単元(100株)以上 5単元(500株)未満	-	2,500円相当	
5単元(500株)以上	1年未満	10,000円相当	2,500円相当
	1年以上	12,000円相当	

<上場25周年記念の株主優待>

保有株式数	保有期間	XRP 暗号資産:XRP	アラプラス ゴールドEX
10単元(1,000株)以上	-	+3,000円相当 & 11,880円(定価)	

次世代資産運用モデルの創出へ

- ① 統合運用プラットフォームの構築
- ② オルタナティブ統合ソリューションの拡張
- ③ グローバル運用ネットワークの獲得と拡張
- ④ 顧客起点の金融知識・AIアドバイザリーモデル

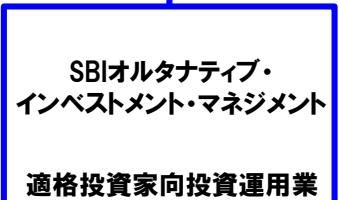
① 統合運用プラットフォームの構築

資産運用残高20兆円の早期達成に向け グループ内再編で総力結集

SBIグローバルアセットマネジメントを中心核に、資産運用残高の加速的拡大と収益率の飛躍的向上を同時に実現する新体制へ



資産運用事業



投資教育・助言事業



資産運用メディア

株式新聞

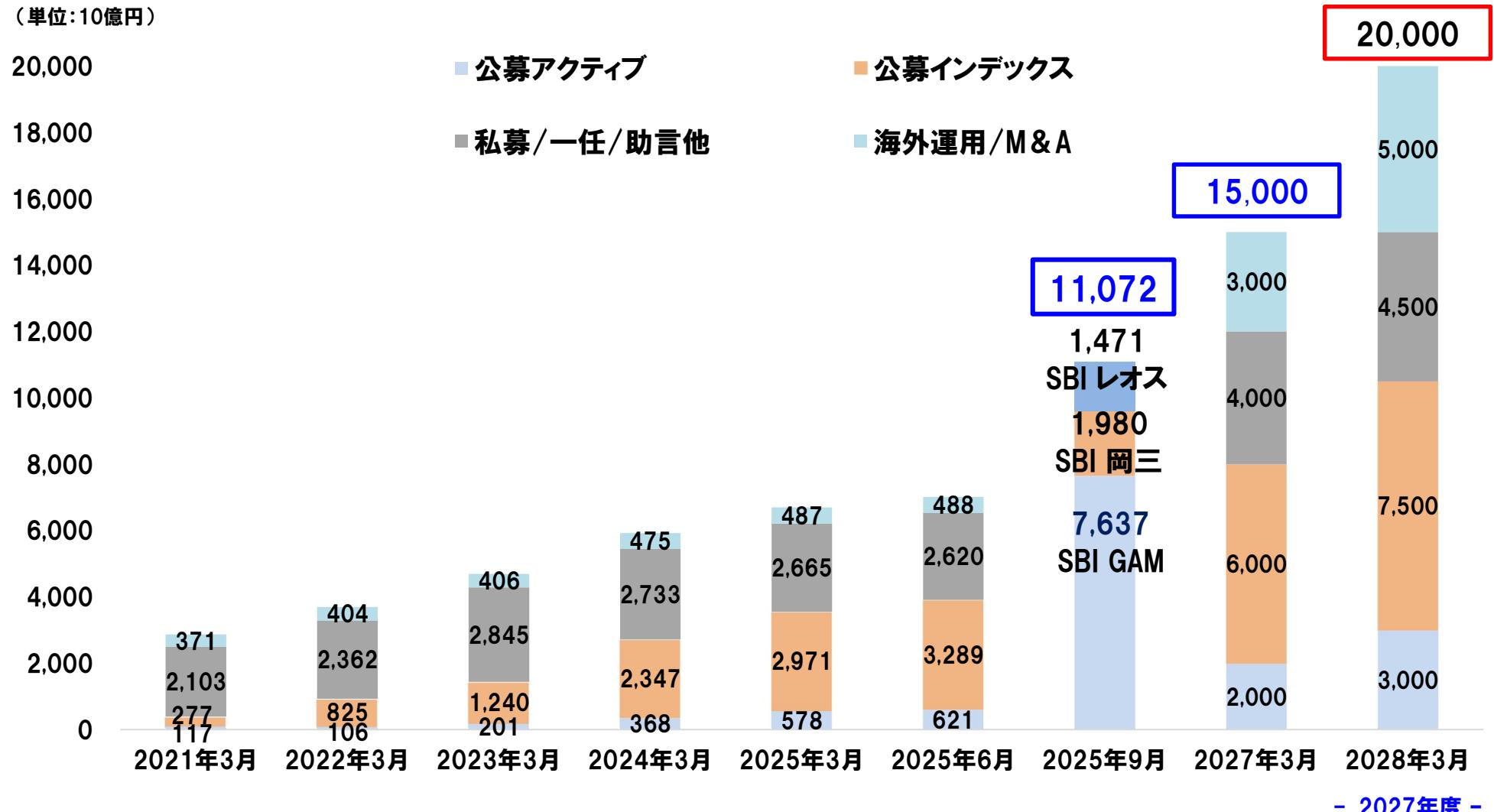


2025年12月1日付

① 統合運用プラットフォームの構築

20兆円突破のその先へ 拡大する運用残高と飛躍する収益力

(単位:10億円)



- 2027年度 -

① 統合運用プラットフォームの構築

運用会社3社による業務連携の推進 ミドル・バックオフィス業務の共通化・統合・効率化に向けて

【第1段階】ミドル・バックオフィス基盤の共通化

- ・投信計理、リスク管理、コンプライアンスなどの業務プロセスを標準化
- ・総務・経理・システム等のインフラを統合し、共通基盤を構築



【第2段階】業務集約化に向けた受託会社の設立検討

- ・AIを活用したデジタルトランスフォーメーションを推進
- ・人員の最適配置と業務効率化を図るため、業務受託会社の設立を検討



【第3段階】当グループ外の運用会社へのサービス提供・業務受託の拡大

- ・当グループ外の運用会社への支援を通じ、業界全体の生産性向上に貢献

① 統合運用プラットフォームの構築

運用会社3社の業務システムの統合・発展へ



2023年10月：3社のシステム統合
・合併後14か月での3社統合は
異例の速さ

2025年11月
新統合システム稼働



2025年9月
子会社化

2025年12月
当社の子会社に



ミドル・バックオフィス
受託会社設立

SBIアセットマネジメント

SBI地方創生アセット
マネジメント

SBIボンド・インベストメント・
マネジメント

2022年8月
3社合併

新生インベストメント・マネジメント

2023年4月
新生インベストメントと合併

各社の商品特性等に応じた独自の
システムと基盤の共通化による合理
化の両立を目指した、アセットマネジ
メントにおける新しいシステムを検討

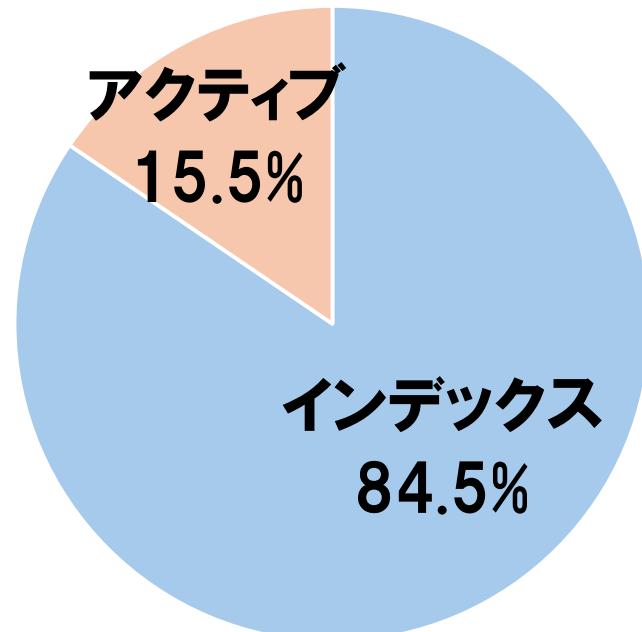
① 統合運用プラットフォームの構築

運用会社3社による業務連携の推進 商品開発・運用力の連携と拡充

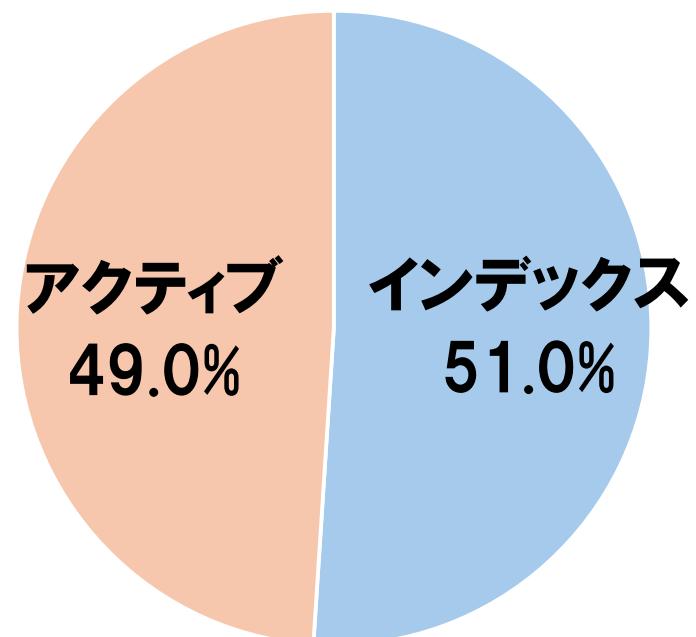
量から質へ 運用モデルの進化



顧客本位・長期投資を支える
低コストモデル



インデックス & アクティブの最適バランス
により、持続的な成長モデルを構築



② オルタナティブ統合ソリューションの拡張

当グループ傘下の「オルタナティブ」3社の連携強化

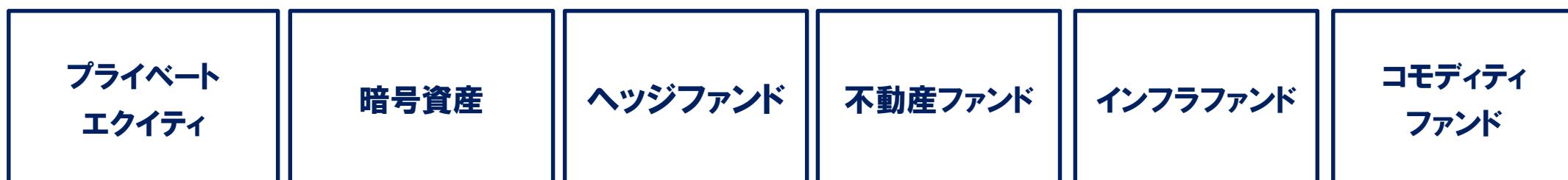


SBI岡三オルタナティブ・インベストメント	SBIオルタナティブ・インベストメント・マネジメント	レオス・キャピタルパートナーズ
プライベート・エクイティ	匿名組合	プライベート・エクイティ
アーリーステージおよびミドルステージの未公開企業	<暗号資産匿名組合ファンド設定※> ビットコイン、イーサリアム、XRP等の7種類の暗号資産へ投資 <ul style="list-style-type: none">• 設定日:2022年2月1日• 償還日:2025年1月31日• パフォーマンス:+25.9%	上場後も成長の見込まれるレーターステージの未公開企業

※当該暗号資産匿名組合は運用期間満了により償還済み



「オルタナティブ」運用の事業拡大へ



② オルタナティブ統合ソリューションの拡張

SBIグループ横断の緊密連携とJVパートナー共創で
次世代運用モデルを構築し、革新的プロダクトを創造する



② オルタナティブ統合ソリューションの拡張

規制緩和・税制改正後に、暗号資産ETF・ファンドの組成

国内上場の暗号資産ETF
(ビットコイン、XRP
イーサリアム等)

SBI・ビットコイン
/XRP ETF
(東証上場)



暗号資産インデックスETF
(複数暗号資産)

SBI Global Asset Management **COINPOST**
暗号資産インデックスの共同開発

「金(ゴールド)」&「暗号資産」の
組み合わせ等の投資信託

ゴールド
ETF



フランクリン・
ビットコイン・
ETF(EZBC)



③ グローバル運用ネットワークの獲得と拡張

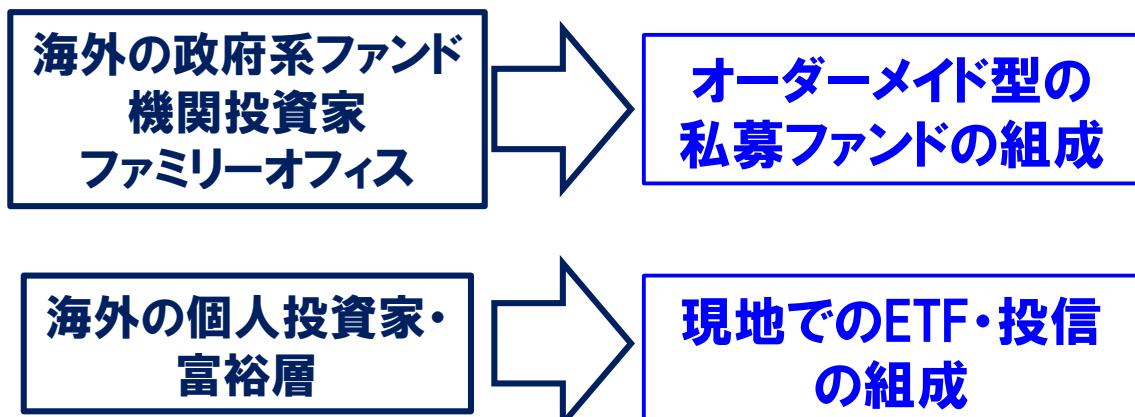
海外資産の獲得戦略と買収・出資の積極的展開

海外の機関投資家・個人投資家から
日本株を中心に運用資産を呼び込む

- 海外の政府系ファンド、機関投資家、
ファミリーオフィス向けに、オーダーメイド型の
私募ファンドを組成
- 海外の個人投資家向けに、日本株を投資
対象としたアクティブ投信・ETFを開発・提供

海外の有力運用会社の
買収・出資による事業基盤の拡大

- 機関投資家向けの事業を展開する
海外の運用会社の戦略的買収・出資
- 成長ポテンシャルの高いアジア・
新興国市場を中心とした拠点の拡大
- オルタナティブ資産に強みを持つ
高収益運用会社の買収・提携による、
事業ポートフォリオの多様化



③ グローバル運用ネットワークの獲得と拡張

海外機関投資家へ直接提案-SBIの運用を世界へ

海外機関投資家・ファミリーオフィスに当グループ独自の
日本株戦略を発信し、資金流入に向けた対話を開始



シンガポールでの講演:2025年11月18日

Japan's Structural Comeback Unlocking Long Term Opportunities with SBI Group

	Asset Management Company	Total NAV (Trillion JPY)
1	SBI Asset + Rheos Capital + SBI Okasan Asset	1.2
2	Nomura Asset Management	1.0
3	Fidelity Investments	0.8
4	Sumitomo Mitsui DS Asset	0.7
5	Asset Management One	0.6

We build portfolios for each client's objectives and constraints

④ 顧客起点の金融知識・AIアドバイザリーモデル

投資情報・教育・AIを融合し、新たな価値を提供



投資助言、資産運用関連ツール



金融・経済・投資教育事業



資産運用メディア



投資家主権を確立する「AIエージェント」の提供へ

投資家一人ひとりに最適な助言と学びを届け、自ら運用を実践できる環境を創出

